

Kitakyushu Foreign Trade Association

# GLOBAL VIEW

2023 SPRING No.64

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2023年・春号

- 言志私録 ● 「道産子からみた北九州」日本貿易振興機構(ジェトロ) 北九州事務所長 奈良 弘之 … 1
- 会員紹介 ● 門司港運株式会社 …………… 2
- 事業紹介 ● ベトナム・ハイフォン市へ企業ミッションを派遣しました …………… 4
- ジェトロ ● 専門家による海外展開ハンズオン支援—2023年度お申込み受付中! …………… 6
- ニュース ● アジア経済情報 …………… 8
- 貿易実務 ● そんな時は、次回から貿易保険! …………… 9



公 益 社 団 法 人 北 九 州 貿 易 協 会



日本貿易振興機構(ジェトロ)  
北九州事務所長

奈良 弘之

## 「道産子からみた北九州」

2020年7月に北九州に着任しまして、もう少しで3年がたちます。西小倉で単身赴任生活をしています。実家の札幌市と家族がいる茨城県つくば市へ行ったり来たりしています。最初の2年間は、コロナ禍での子供の受験だったため、帰省する頻度はかなり少なく、幸いにも北九州市内で過ごすことが多かったです。

わたしは北海道に生まれ、小樽商科大学を卒業するまで札幌市で育ち、ジェトロに入ってから、東京都世田谷区、島根県松江市、ルーマニア国ブカレスト市、イスラエル国ヘルツェリア市に住みました。「北九州のよさ」ですが、ここで、北九州を東京と比較しません。東京はパリ、ロンドン、あるいはニューヨークと比較されるべきです。また、「自然に恵まれている」とか「食べ物おいしい」というのは、日本津々浦々でいえることです。

それ以外にも北九州の良いところはたくさんあります。まず、「長距離輸送機関」に恵まれていることです。具体的には、新幹線、特に「のぞみ」の停車駅ということです。着任早々新幹線通勤が多いと聞いて驚きました。また、北九州空港、門司港からの長距離フェリーと、陸海空のすべてが揃っていることです。「飛行機は乗ったことがあるが、新幹線は乗ったことがない」という道産子は多いです。そういうわたしもジェトロの入社試験に札幌と東京を往復したとき、用事もないのに、人生初めての新幹線(東京・名古屋間)を体験しました。「新幹線、飛行機、フェリー」は、覚悟を決め、何時間もかけ、乗りに行くものという常識が覆されました。この環境が当たり前だと思っははいけません。恵まれています。ここにコンパクトシティとしての魅力があります。

北九州市は60周年を迎えましたが、旧5市の魅力が個性的な「観光資源」に反映されています。たとえば、国際物流関係で、「北九州」を知らずとも「MOJI」を知らないならばモグリですし、なにげなく北九州市内を歩いても、史跡説明が多く、歴史を大切にされています。「グルメとショッピング」というステレオタイプではない良さがあります。なんといっても、道産子と外国人に受けるのが、「城」です。わたしの住まいの決め手も「歩いて図書館と小倉城に行かれるところ」でした。

あとはご当地ソングがもう少しあれば、北九州を去った後もいつも心の中に北九州があります。わたしはどこにいても「小樽のひとよ」、「好きですサッポロ」、「コモエスタ赤坂」、「異邦人」を歌い、自分の半生を思いおこします。「無法松の一生」をチャレンジする前に「富島松五郎伝」をよんだところ「とてもわたしに歌うだけの度量がない」と封印してしまいました。心に残る「北九州のうた」を探しています。

奈良 弘之



「佐藤一斎 像」  
渡辺崋山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉元総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)

## 門司港運株式会社



**門司港における80年の歴史と実績で培った実力のプロ集団より速く、より確実に。**

**「今日」と豊かな「明日」を結ぶ信頼の絆**

地元、門司港で80年にわたって港湾運送事業全般の業務に携わり、博多、苅田、下関及びひびきと事業を展開し、貨物のセキュリティ管理とコンプライアンス（法令遵守）の体制を整備。お客様のご要望にお応えべく「港湾イノベーション」を合言葉に、迅速・的確な業務と安心のサービスを提供致します。



### 会社沿革

1942(昭和17)年	港湾運送事業等統制令に基づき関門港の全船内荷役業者を統合し、関門船舶荷役株式会社を設立	1988(昭和63)年	太刀浦出張所開設並びに上屋完成
1950(昭和25)年	門司港運株式会社と改称 税関貨物取扱人免許取得	1990(平成2)年	貨物利用運送事業免許取得
1953(昭和28)年	船舶代理店業務開始	1999(平成11)年	本社新社屋完成
1962(昭和37)年	船内荷役事業免許取得	2007(平成19)年	福岡営業所開設
1963(昭和38)年	はしけ運送事業免許取得 一般港湾運送事業免許更新取得	2009(平成21)年	グリーン経営(倉庫業)認証登録
1969(昭和44)年	下関事務所開設 苅田港出張所開設	2011(平成23)年	AEO 特定保税承認者(届出蔵置場)取得
1970(昭和45)年	内航運送取扱業免許取得	2012(平成24)年	AEO 認定通関業者認定 門司港サイロ株式会社設立
1974(昭和49)年	通関業許可取得	2013(平成25)年	東京事務所開設
1986(昭和61)年	倉庫業許可取得 港湾荷役事業免許更新取得(船内荷役と沿岸荷役が一本化)	2017(平成29)年	ひびき営業所開設
		2021(令和3)年	北九州市「北九州市SDGS登録制度」登録 国土交通省「みなとSDGSパートナー登録制度」登録
		2022(令和4)年	創立80周年

お問い合わせ先

門司港運株式会社 〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目1番11号  
TEL: 093-321-3261(代) FAX: 093-321-0669  
HPアドレス <https://www.mojikoun.co.jp> 代表メール [mkk@mojikoun.co.jp](mailto:mkk@mojikoun.co.jp)

### 港湾運送事業部門

船内荷役は港湾運送の出発点です。創立以来の経験と実績に基づき、熟練の作業員による高度な技術と高性能作業機器を駆使して、迅速かつ安全に作業を実施。加えて新鋭大型機器や重量物特殊車輛や一般車輛、一般貨物に対応した自動車運送取扱業等の活用により、海陸一貫直営作業を実現しており港湾運送事業の中核的役割を果たしています。



大型荷役機器



海上クレーンでの荷役作業

お問い合わせ先

港運部作業課 / 093-321-0442

### 輸出入貨物取扱部門 (通関業、貨物利用運送業、輸出梱包業)

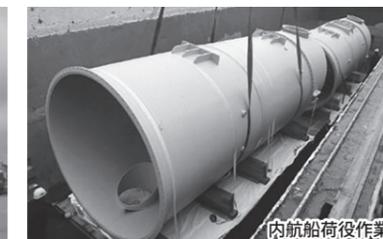
当社は輸出入通関業務において、門司税関管内で常にトップクラスの実績を上げております。独自のシステムによる迅速・確実な業務も非常に高く評価され、多くの信頼を頂いております。梱包業についても長年の経験と豊富なアイデアで、多様化する市場のニーズにマッチした最適な梱包を提供。また、運送業は輸出入貨物の取り扱いから船積み、輸入貨物の納品まで、綿密な連携のもとに全国をくまなくカバーしています。



コンテナ作業



クレーン作業



内航船荷役作業

お問い合わせ先

輸出入貨物部 / 093-321-3266(門司港、下関港含む) 福岡営業所 / 092-481-3035(博多港)

### 倉庫部門

肥料の原料を専門に取り扱っています。動物検疫(消毒)等規制に対応した特殊倉庫をはじめ、定温、サイロを有した施設を保有し、バラ貨物から有姿袋まで様々な貨物の取り扱いに対応しています。船舶代理店など他部門と密接に関わりながら、海陸一貫直営作業を実施し、肥料原料の安定供給に貢献しています。



バラ作業



バラ倉庫



バラ船荷役作業

お問い合わせ先

業務部業務課 / 093-321-6685(肥料関連) 倉庫部倉庫課 / 092-321-1281(飼料関連)

# ベトナム・ハイフォン市へ 企業ミッションを派遣しました

北九州市は、姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市と、JETROやJICAの事業を活用しながら約10年にわたりビジネス交流を続けています。両市の交流への参加をきっかけに、現地企業とのビジネスを開始し、現在でも継続している市内企業もあります。

新型コロナウイルスの影響から中断を余儀なくされていたビジネス交流ですが、2022年5月の「キックオフセミナー」を皮切りに再開、10月にはKITA（北九州国際技術協力協会）とともに現地企業17社の調査を行い、ハイフォン市との協議の結果、12月に北九州市から企業ミッションを派遣し現地で企業交流会（商談会）を開催することで合意しました。

12月19日（月）から22日（木）、産業経済局長を団長とする企業ミッションには、4社が参加（ほか1社は商談会にオンライン参加）、このほかジェトロ北九州、JICA九州からも参加いただきました。

## ハイフォン市科学技術局表敬

12月20日(火) 10:15～11:00

ベトナム北部のハノイ市からハイフォン市にかけてのエリアは、古くから鉄鋼・セメント等の国営企業が集積していますが、最近では外資企業の立地が進んだことに伴い地場の裾野産業の成長が著しい地域です。10月の現地調査では、創業10年未満の技術力の高い企業も数社視察し、日本企業の要求する技術レベルに比べられる企業が増えつつあることを実感しました。中でも、ハイフォン市は、大水深港ラックフェン港の開港やハノイまでの高速道路の開通もあり、ベトナムの経済成長をけん引する都市です。



(右) チャン・クワン・トゥアン局長

今回のミッションでは、まず、地元企業の技術開発やビジネス支援を所管するハイフォン市科学技術局長を表敬しました。チャン・クワン・トゥアン局長からは、「ベトナムは2025年までに工業化を進める目標を掲げており、ハイフォン市は今回の企業交流会を歓迎するとともに引き続き北九州市との交流を期待する」とのご挨拶をいただきました。表敬後は、トゥアン局長から昼食にご招待いただき、美味しいハイフォンの料理を食べながらざっくばらんな交流の時間を過ごすことができました。

## 北九州—ハイフォン企業交流会

12月20日(火) 14:00～17:00

まず、北九州市企業から企業概要や自社製品について発表、その後20社を超える現地企業と商談しました。

当初は北九州の企業1社につき現地企業4社との商談を予定していましたが、現地企業の商談に対する関心が高く追加の商談が設定されただけでなく、予定時間を越えた熱気あふれる商談もあり、参加企業に満足いただけた商談会となりました。

北九州市と共に企業交流会を主催した「科学技術開発・革新センター（略称：ISC）」は、科学技術局傘下の機関で、技術開発や国内外企業とマッチング支援を行っています。カバーするエリアは北部13省に渡り、製造業を中心に4,500社とのネット

ワークを有しています。こうした広範なネットワークを活用し、準備期間が短かったにも関わらず、ハイフォン市だけでなくハノイ、ホーチミンの企業の参加につながりました。

ISCのチャン・クワン・ヴィン所長は、2022年8月のVJCC研修で北九州市に来られたこともあり、「北九州市・ハイフォン市双方のビジネスにつながるまでサポートしたい」という力強い



コメントをいただきました。

商談後の企業アンケートでは、ハイフォン市の企業からは「具体的なビジネスの話をもっとしたい」といった要望が、北

九州の企業からは「今後の取引につながる可能性が高い商談があった」といった感想があり、引続き両市で商談会のフォローアップを続けてまいります。

## 現地企業視察

12月21日(水)

企業交流会の翌日、ハイフォン市内の企業（Vin Fast、Duyen Hai Mechanical JSC）と日系企業（TOTO Vietnam）を視察しました。

Vin Fastは、今世界から注目を集めるベトナム地場のEV専門メーカーでハイフォン市南西部に広大な工場があります。当日は、国際部門を所管するフン副社長から説明を受けた後、製造ラインを見学しました。なかなか視察できないVin Fastに両市の姉妹都市関係の強固さを感じました。

TOTO Vietnam は2022年7月に稼働した第4工場を視察しました。浅田社長からの説明と工場見学、現地の電力事情や雇用状況などについて意見交換を行いました。工場では、ベトナム人

従業員が「シンチャオ（こんにちは）！」と我々に元気に挨拶する姿が印象的でした。

2023年は日本とベトナムの外交関係樹立50周年、2024年は北九州市とハイフォン市の姉妹都市締結10周年の年となります。これからASEANの中でベトナムは工業国としてさらに発展する中で、北九州市は、ハイフォン市と連携して、引続き市内企業のベトナムでの事業展開を支援してまいります。今回は企画から募集まであまり時間がなかったことから参加を断念された企業の皆様におかれましては、次の機会の参加をお待ちしています。



## ハイフォン市について

- 面積：1,562km<sup>2</sup>（北九州市：489.6km<sup>2</sup>）
- 人口：203万人（北九州市：93万人）
- 位置：首都ハノイから約100km、中国国境から約200km
- 「中央直轄5都市」のひとつで2021年度の経済成長率は国内トップ（対前年比：+12.8%）
- 産業について

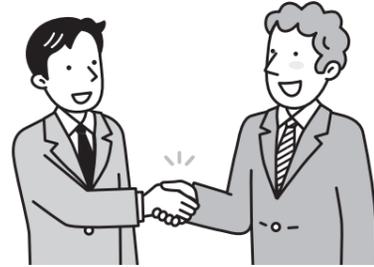
ハノイを背後に擁した物流基地としての重要性は高く、海運・造船等の海洋関連産業が長らく産業を支えてきた。ハノイまでの高速道路の開通、大水深港ラックフェン港の開港など、近年物流面における利便性が向上している。

また、工業団地の建設も進んでおり、2019年5月に、ディープシー工業団地と本市企業の進出にともなう優遇措置について覚書を締結した。



# 専門家による海外展開ハンズオン支援 2023年度お申込み受付中!

ジェトロのハンズオン支援では、海外展開を目指す中小企業向けに、海外のビジネス経験豊富な「パートナー」と呼ばれる専門家が、継続的な企業訪問・海外出張同行を通じて、海外展開の作成支援から海外販路開拓、立ち上げ、操業支援まで一貫して支援します。



## 例) 海外事業計画の作成

企業が置かれている状況、強みや弱み、課題からSWOT (Strength, Weakness, Opportunity, Threat) 分析などを行い、ビジネス機会を発見します。輸出しようとしている国における市場規模はどうか、顧客層をどこに設定するのか、競合他社はあるのか、現地に必要な認証の取得は大丈夫か、英語版のホームページやSNSの活用など、計画段階でチェックしておくべき項目について、一つ一つ確認します。

北九州市内では、2022年度も20社以上に本支援をご利用いただいております。中には、コロナ禍にありながら、海外での現地法人設立まで至った企業様もいます。

パートナーは企業を直接訪問したり、電話やメール、オンライン面談などでアドバイスしたりするほか、場合によっては海外出張に同行して支援します。

ジェトロはハンズオン支援において、全世界・全分野を対象に輸出はもちろん海外拠点の設立もサポートします。海外展開に意欲のある企業のみならず、ハンズオン支援でチャレンジしてみませんか。

まずはジェトロ北九州までご相談ください。



## ジェトロの「専門家による海外展開ハンズオン支援」をご利用いただいている企業様の声をご紹介します。

株式会社EMAJINY様は、2019年8月よりヘアカラーワックスの輸出に向けて本事業に参加されています。渡航が解禁されてきたことに伴い、2023年1月に専門家（パートナー）と米国にご出張されました（専門家のフィーおよび渡航費用はジェトロ負担です）。

### 株式会社EMAJINY ロサンゼルス渡航記

2023年1月18日～26日

EMAJINYブランドのヘアカラーワックスを世界中の人々に知ってもらうために人生を掛けて挑戦すべき目標としてハリウッド映画で役作りに使用されること事を目標に掲げたのが2020年！

しかし、ハリウッドに伝手が無いところからスタート、コロナ禍で渡航する事も出来ない状況が続く中でも何か手がかりが無いかとWebでハリウッド、映画、ヘアスタイリストなどと検索キーワードを入れては調べる日々・・・数人にメールをしても何の返信も無い日が続いていた頃、ハリウッドで活躍する一人の日本人ヘアスタイリスト徳永優子さんに行き着き、プロフィールを拝見するに大変な功績と実力を兼ね備えた方。これまでの失敗を活かして最初のメールをJETROにお願いをする事に。

なんと喜ばしいことに翌日にはご本人様より好意的な返信メールを頂けたのです。

その後のメールから渡米してのアポイントまでJETROにお願いをして渡米のアポイントまでたどり着くことが

できました。

願いは叶えられ1月19日、ロサンゼルスにてお会いする事ができたことは本当に素晴らしい機会でした。終始快く迎え入れて頂き当初1時間のアポイントは延べ3日間にもおよび、たくさんのハリウッド関係者をご紹介頂きました。お陰で、現在は、ハリウッドで今春には使用して頂ける打ち合わせが毎日のように続いています。

これもひとえにJETROの信用力の賜物と感じております。ありがとうございました。



お問い合わせ先

日本貿易振興機構（JETRO）北九州貿易情報センター

MAIL: KIT@jetro.go.jp TEL: 093-541-6577 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日、祝祭日を除く)

# アジア経済情報

～「北九州貿易協会ウィークリーニュース」より～

## ■北九州貿易協会ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エー (<http://www.nna.jp/>) の提供するアジアのビジネス情報、北九州市の海外事務所(大連)からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを掲載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

中国 2023.3.3

## 日本旅行PRに中国社が本腰 配信で4億円超売り上げも

中国と日本の観光往来の本格再開を見据え、中国オンライン旅行会社(OTA)大手の携程集団(トリップドットコム・グループ)が日本旅行のPRに本腰を入れている。日本の旅行商品を紹介するライブ配信では、流通取引総額(GMV)が2,300万円(約4億5,500万円)に上った。6月までに「訪日旅行の客足が戻る」とみて、日本のアニメ人気にあやかり「聖地巡礼」などを盛り込んだ商品開発も検討している。【山川冬子、吉野あかね】

「ついにPCR検査なしでも日本に行けるようになりました!」。日本が中国からの渡航者への水際対策を緩和した1日の夜、トリップドットコムの孫天旭副総裁はライブ配信で日本の旅行商品をPRした。

ライブ配信の会場となった東京都多摩市のテーマパーク「サンリオピューロランド」から、孫氏が同テーマパークの世界観やアクセスの利便性などを紹介。サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」も登場し、視聴者にサンリオピューロランドの魅力を伝えた。

ライブ配信では、大阪市のテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)」の入場券や、世界文化遺産に登録されている岐阜県白川村の白川郷の日帰りツアーなど日本各地の観光商品もPR。訪日外国人向けの乗り放題切符「JR九州レールパス」や「JR九州ホテル ブラッサム那覇」のホテル予約も特別価格で販売した。

1日のライブ配信の視聴者数は700万人に上り、配信中に紹介した日本旅行商品のうち18商品が完売。通年使える商品が主体で、大阪や京都の宿泊商品を中心に人気が集まった。USJに隣接する「オリエンタルホテル ユニバーサル・シティ」や京都市にある「ホテル京阪 京都八条口」の予約は発売開始から10秒で売り切れたという。日本旅行の人気が依然高いことを印象付けた形だ。

JR九州の広報担当者は「新型コロナウイルスの流行前には中国からの観光客が九州にもたくさん訪れていた。新型コロナ禍の3年の間に新しくなった観光地や新たに運行を始めた新幹線、観光列車などの情報を発信し、九州のファンになってもらうことを期待している」と話した。

### ◆「聖地巡礼」の商品開発も

トリップドットコムによると、日本のアニメやキャラクターに関心の高い「90後(1990年代生まれ)」や「00後(2000年代生まれ)」の会員が増えていることを受け、今後はアニメに登場した実際の場所をファンが訪れる「聖地巡礼」を狙った商品開発にも力を入れる。

中国本土では今月24日から、新海誠監督のアニメ映画最新作「すずめの戸締まり」が上映される。作品は九州の町で暮らす女子高生が主人公で、トリップドットコムは「舞台とされる九州各地への旅行が人気になる」と見込む。

4月には人気バスケットボール漫画「スラムダンク」のアニメ映画「THE FIRST SLAM DUNK」も上映される見通し。「聖地」とされる神奈川県鎌倉市の踏切などを訪れる人も多いと指摘する。

トリップドットコムの会員数は約4億人で、このうち3億人は中国国内

の会員。同社は日本の47都道府県の半数以上と連携し、現地の観光情報発信や、地方の観光資源を掘り起こす商品開発なども手がけている。

### ◆水際緩和で高まる訪日意欲

日本は1日、中国本土からの渡航者を対象とする水際対策を緩和した。出国前72時間以内の陰性証明の提示は今後も続けるものの、渡航者全員に義務付けてきた検査をなくし、無作為に抽出するサンプル検査に切り替えた。

日本が先月27日に水際対策の緩和を発表した直後、中国では日本旅行の検索数が急増。トリップドットコムによると、同社の旅行サイトでの日本旅行の検索数は前日比で76%増加した。

訪日意欲が高いことを裏付ける調査結果もある。GMOリサーチが昨年10月末、中国人330人に行った調査では、「近い将来最も行きたい国」として日本が25.8%を占めて首位だった。訪日旅行の検討時期は「23年3月まで」(20.3%)、「23年8月まで」(24.8%)、「23年内」(20.4%)を合わせて6割以上が年内に検討すると答えた。

日本への旅行を計画しているという30代の中国人男性は「新型コロナ前は東京や大阪に3回以上行ったことがある。まだ行ったことのない金沢や長野など、地方にも足を運んで美食を楽しみたい」と観光再開に期待感を示した。

### ◆人手や空路の不足が課題に

一方、急速に回復するインバウンドを取りこぼさないためには、日本側の受け入れ態勢の再構築が急務になる。

特に観光業の人手不足は深刻だ。帝国データバンクの調査(全国1万1,719社対象)によると、今年1月時点で「正社員の人手が不足している」と回答した旅館・ホテルは77.8%で、前年同月から35.9ポイント上昇し、全業種を通じて最も高かった。

地方自治体の関係者は「中国以外のインバウンドが増えているが、人気の観光地では人手不足などを理由に宿泊客に対応しきれていない」と説明。1～3カ月前から予約が埋まっている施設もあるといい、「まだ知られていない観光地をPRし、観光客を分散化する必要がある」と話した。

日本と中国を結ぶ直行便の復活も課題。新型コロナの流行前には花巻(岩手県)や富山、静岡など日本の地方と中国の主要都市を結ぶ直行便が運航されていた。中国との直行便を成田、羽田、関西、中部の4空港に限定する措置は1日に解除されたが、現在も地方空港では運休が続いている。

上海との直行便の運休が続くある県の関係者は「(運休は)県内の観光業界にとって大きな打撃になった。今年の冬季シーズンまでに再開できるように働きかけていきたい」と述べた。

日本政府観光局(JNTO)によると、新型コロナが流行する前の19年に日本を訪問した中国人観光客は過去最多の959万4,394人だった。トリップドットコムは「フライト数が増えて航空券の価格が新型コロナ前の水準に戻れば、日本への観光需要が一気に伸びる」と見込んでいる。



日本企業に、挑む勇気を。

「バイヤーからの支払いが遅れていた。今回は何とか回収できたが、今後も同様なことが起きないか不安。」



## そんな時は、次回から貿易保険!

### ウクライナへの輸出にかかる保険金のお支払い

ウクライナに自動車部品を輸出していた企業に対して、日本貿易保険は保険金額のほぼ全額の支払いを行いました。ロシアからのウクライナ侵攻により、海外バイヤーとの通常どおりの取引継続が難しくなったため保険事故に至ったものです。

このように、これまであまり予想できなかったカントリーリスクが顕在化してきており、当面は不安定な状況が続く可能性があります。

【モデル保険料】 例：契約金額100万円、船積後60日送金払いの場合  
中小企業農林水産業輸出代金保険、格付EF格の場合

輸出先(支払国)	保険料
U.S.A.向け	6,340円(0.634%)
中国向け	8,240円(0.824%)

- 保険金は貸倒れ額の最大95%!
- 提携金融機関のご紹介で保険料が10%割引!
- バイヤーの信用調査料が8社まで無料!

・中小企業基本法に基づく「中小企業者」及び「農林水産事業者等(一部除く)」に限ります。  
・NEXIの審査結果(格付及び個別保証枠)のみ通知し、調査報告書等はお渡しできません。

政府100%出資の保険会社 NEXI がサポートします!



日本貿易保険 大阪支店 大阪市中央区北浜3-1-22  
TEL 06-6233-4018 0120-649-818 (フリーダイヤル)  
E-Mail: [sme-support-osaka@nexi.go.jp](mailto:sme-support-osaka@nexi.go.jp)  
ホームページ: <https://www.nexi.go.jp/>